

# すみた 議会だより



No. 181

令和5年  
4月14日



【特集】

— 議会のあり方 —

自己点検

①

未来を見据えて行動  
(3月議会のあらまし)

④

共に考える予算  
予算審査特別委員会

⑧

子育てなどで論戦  
(7議員が一般質問)

⑪

すみた想い人

⑱

「ナイスバランス！でも手は離さないでね！」

《世田米保育園》関連記事20P

# 町議選

# 2期連続無投票

## 特集

## 議会のあり方

# 自己点検

町議会議員の任期が今年9月30日に満了となります。町議選は前回、前々回のいずれも候補者が定数の12人にとどまり、2期連続で無投票に終わりました。

### なり手不足深刻

2期連続の無競争によつて「なり手不足」の深刻さが浮き彫りになる中、議会に対する住民の関心を高めるため、「町政調査会」において、議会の将来を見据えた議会運営上の工夫など「議会のあり方」について議論を深めています。

### 広い住民の参画を

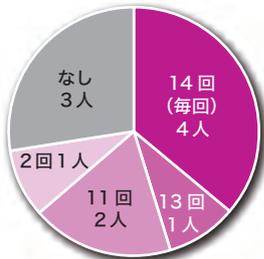
議会は地域の多様な民意を集約し、団体意思を

決定する機能や政策を形成する機能、執行機能を監視する機能などを担っており、民主主義・地方自治に欠かすことのできない合議制機関です。その役目を果たすには、幅広い住民の参画を促すことが求められ、多様な層の住民から選出された議員によつて構成される必要があります。

一般質問は定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問すること。

一般質問の登壇議員数の状況は表のとおり。内容は議会だより「町の考えを問う」のコーナーで紹介しています。

一般質問登壇数



### 女性ゼロ議会

候補者数の男女均等化を促す「政治分野の男女共同参画推進法」が成立して5年になります。県内では女性議員がいない議会は5市町村です。子育て支援や雇用など生活に直結する政策議論の場に、男女双方の視点を反映する体制を整えることが望まれ、政治に参画する女性を増やすには、さまざまな障壁を取り除くことが重要です。

### 議員定数・報酬

町政調査会では、「議員定数」や「議員報酬」、「議会の通年会期制」などの論点や争点を整理して議員間の理解を深めるため議員間討議を行い、議会の活性化に向けた取り組みを実施しています。

議員のなり手不足の要因のひとつが低額な議員報酬にあると考えられます。議会活性化の取り組みと合わせ「活動内容を踏まえた原価方式」による議員報酬の見直しとの相乗効果を図っていただきたいと考えます。

## ■住民と議員の懇談会

ざっくばらんに“おしゃべり” —意見交換—

会 期：令和5年4月17日～5月14日の期間

会 場：自治公民館単位で開催

テーマ：①議会報告～令和5年度予算について

②議員定数と報酬について

③地域課題について



# 議会力アップ

## のため

～住民とともに歩む  
議会像を求めて～



### ■ 岩手県内の類似自治体（人口1万人未満町村）の実態 （令和4年7月1日現在）

#### 議員定数

町村名	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	議員の定数(人)
住田町	4,967	334.8	12
葛巻町	5,681	434.9	10
西和賀町	5,105	590.8	12
平泉町	7,100	63.4	12
岩泉町	8,419	992.4	14
田野畑村	3,091	156.2	10
普代村	2,458	69.7	10
軽米町	8,637	245.8	12
野田村	4,086	80.8	12
九戸村	5,426	134.0	12

#### 議員報酬(月額)

町村名	議長	副議長	議員	参考(町村長)
住田町	258,000	207,000	196,000	675,000
葛巻町	279,000	227,000	211,000	690,000
西和賀町	257,000	208,000	191,000	651,000
平泉町	271,000	218,000	203,000	684,000
岩泉町	279,000	226,000	210,000	690,000
田野畑村	235,000	189,000	170,100	655,000
普代村	236,000	189,000	170,000	570,000
軽米町	262,000	219,000	195,000	628,000
野田村	246,000	194,000	175,000	615,000
九戸村	230,000	182,000	165,000	518,500
最高	410,000	350,000	300,000	780,000
最小	230,000	182,000	165,000	518,500

#### 議員の年齢構成

（令和3年7月1日現在）

町村名	25歳以上 30歳未満		30歳以上 40歳未満		40歳以上 50歳未満		50歳以上 60歳未満		60歳以上 70歳未満		70歳以上 80歳未満		80歳以上		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
住田町			1						6		5				12	
葛巻町							1		4		4				9	
西和賀町							2		4		4	1	1		11	1
平泉町					1		1		7	1	1	1			10	2
岩泉町					1		2		5		5	1			13	1
田野畑村							1		4	1	4				9	1
普代村							2		5		1		1		9	
軽米町					1		1		4		3	2	1		10	2
野田村			1		1				3	1	5	1			10	2
九戸村							1		4	2	4		1		10	2

県内19町村

最年少 34歳  
女性議員 33人

最年長 91歳  
男性議員 217人



# 町民力を結集

# 未来を見据えて行動

## 5年度主要施策

### ◆ひと：人口対策

- 子育てへの支援・・・保育料の全額無償化
- 教育環境の整備・・・ICT活用など学校教育環境の整備
- 社会福祉の充実・・・助け合いながら暮らす基盤づくり

### ◆まち：生活環境対策

- 環境施策の推進・・・脱炭素社会の形成
- 公共交通、生活関連施設の整備
- 地域安全対策の推進・・・地域ぐるみの防災体制づくり

### ◆しごと：所得対策

- 農業の振興・・・新規就農者・中心経営体への支援
- 林業の支援・・・未利用間伐材の収集システムの構築
- 商工・観光業の振興・・・交流人口の拡大

### ◆行政経営：情報化

- 自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

## 第27回定例会 (3月議会) あらまし

第27回定例会（3月議会）は、3月2日から13日までの12日間の会期で開かれ、町長施政方針演説、教育長教育行政演説の後、7議員が登壇し、町政諸課題について一般質問を行いました。

その他、令和4年度の一般会計、特別会計、企業会計の補正予算、条例の制定・一部改正、副町長の選任、令和5年度各会計当初予算案など28議案と、専決処分1件、委員会発議1件を審議し、原案の通り可決、承認しました。請願3件は不採択となりました。

## 町長の施政方針(要旨)

### 移住定住施策 に注力



神田謙一町長

持続可能なまちづくりを実現させるために、これまで以上に移住定住施策に注力する必要があります。施策の一つとして、「仕事と学び複合施設」が完成し供用開始となります。デジタル化に対応した仕事環境を整備することで、広く町外から企業や人を呼び込み、交流人口や関係人口を拡大させ、町内外の若者にとって魅力ある施設として稼働率を向上させてまいります。

今後も人口減少は進み、社会の担い手不足、税収の減少など我々を取り巻く環境は一層厳しさを増していきます。

どのような困難にも一致団結の精神で町民力を結集することで、地域に、町民に、そして未来を担う子どもたちのために「希望にあふれる明るい住田の創造」に向けて前進してまいります。

### ■重点事項

- ☆健康まちづくりの推進
- ☆食産業の推進
- ☆住まい環境の改善

## 5年度予算の概要

令和5年度当初予算の総額は、4年度当初比6・5%増の71億9339万円。一般会計は50億3500万円で4年度当初より9・5%増の4億3500万円増加している。

特別会計は国民健康保険が6億6180万円、介護保険（保険事業・介護サービス事業勘定）が10億196万円、後期高齢者医療が8108万円。特別会計の合計は17億4485万円で、4年度当初を0・8%上回った。

公営企業会計のうち、簡易水道事業は収益的収入が1億6140万円、同支出が1億4489万円。資本的収入は3847万円、同支出は8593万円。下水道事業は収益的収入が1億4440万円、同支出が1億4401万円。資本的収入は3455万円、同支出は3871万円。



△火災や災害から地域住民の生命、財産を守る使命に燃えて活動する消防団

# 消防団員年額報酬引上げ

## 団員年額 36500円

条例改正

【消防団員定数】  
現行の465人を380人に改正

### 【消防団員年額報酬】

階級	現行	改正
団長	140,000	150,000
副団長	93,500	100,000
分団長	73,000	80,000
副分団長	53,000	60,000
部長	46,500	50,000
班長	33,000	40,000
団員	26,500	36,500

消防団員の定数を改正するとともに、消防団員の処遇改善を図ることを目的として、非常勤消防団員の年額報酬の引上げを行う。

## 人事案件

### 新副町長に 小向正悟氏 選任

平成27年から2期8年にわたって副町長を務めてきた横澤孝氏（65）が、3月末をもって退任することに伴い、新副町長に元県職員で、平成13年10月から15年度末まで当町助役を務めた小向正悟氏（64）が盛岡市選任することと同意。



小向 正悟氏  
任期：4月1日から4年間

## コミュニティバス 高田住田線 土曜日運行

令和4年10月1日から岩手県交通は、陸前高田住田線の土、日曜日のバス運行を廃止した。住田高校生、高田高校生の部活、高齢者など交通弱者の交通手段が課題となり、当町と陸前高田市で協議を進めてきた。地域の移動手段の確保、乗降の実証実験を目的として両市町の協力・連携で、令和5年4月8日より

- **経路・停留所**  
住田高校⇄イオン陸前高田（現行の県交通バスと同様）
- **運行日**  
毎週土曜日のみ運行
- **運賃**  
1乗車200円  
（小中高生・介護人100円）
- **便数・ダイヤ**  
土曜4便（2往復）  
・イオン陸前高田⇒住田高校  
① 7：00 → 7：57  
② 12：00 → 12：52  
・住田高校⇒イオン陸前高田  
① 8：05 → 8：57  
② 13：05 → 13：57

り町コミュニティバスによる陸前高田住田線の運行を開始する。



△陸前高田住田線を運行するコミュニティバス

## 個人情報保護法改正に伴う関係条例整備

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備を行うものである。

内容は、個人情報保護法を適正管理する帳簿の整備、情報開示や訂正、新たな審査会、罰則などの規定。

**Q** 一連の個人情報保護条例の背景は。

**A** 個人情報の保護に関し、これまでは

地方公共団体がそれぞれ条例を制定して対応してきたが、これからは国が一元化して対応していくことが背景にある。町としては、国の制度を適切に運用していく。

**Q** 情報漏洩防止の対策は。

**A** 町のセキュリティポリシーを改定するなど情報漏洩には万全を期していく。

# 交流人口 拡大へ



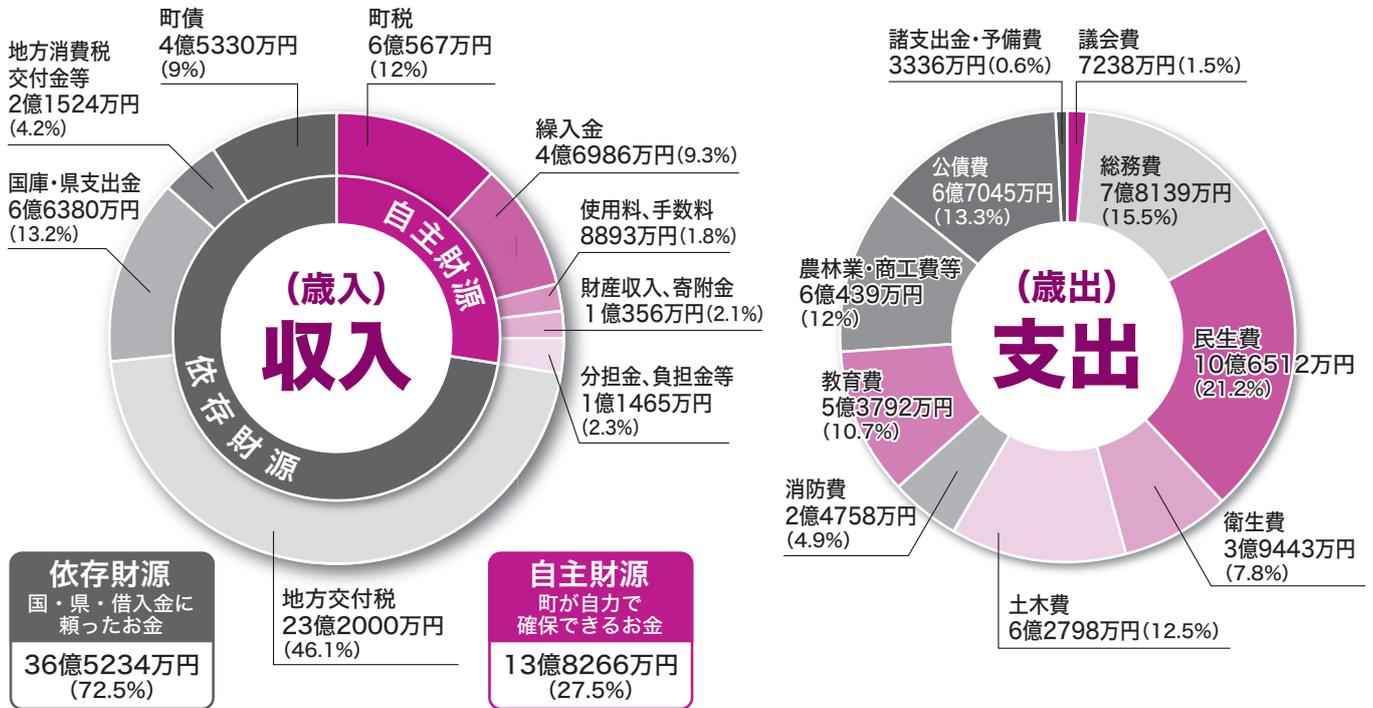
町内観光の中核拠点！

## 滝観洞観光センター受付棟整備 1億3320万円

すみた随一の観光地「滝観洞」の受付棟が新しく生まれ変わる。食事スペースや休憩スペースが新たに設けられ、やすらぎある憩いの施設整備に着手。

予算審査特別委員会

## 人口減少対策予算 一般会計50億3500万円



## 令和5年度 各会計予算の前年度との比較

区分	令和5年度	前年度	伸び率	
一般会計	50億3500万円	46億円	9.5%	
特別会計	国民健康保険	6億6180万円	6億3974万円	3.4%
	介護保険（保険・サービス）	10億196万円	10億156万円	0.3%
	後期高齢者医療	8108万円	8994万円	△ 9.9%
企業会計	簡易水道事業（支出予算）	2億3083万円	2億3959万円	△ 3.7%
	下水道事業（支出予算）	1億8272万円	1億8298万円	△ 0.1%
合計	71億9339万円	67億5169万円	6.5%	

# さらなる移住定住促進へ

## 新年度 主な事業をピックアップ!

### ○子育て支援

0才児から2才児も無料へ

### 保育料完全無償化

いわて子育て応援保育料無償化補助金  
73万円



### ○関係人口拡大

仕事と学び複合施設「イコウェルすみた」

### 管理・運営の人材整備

プロジェクトマネージャーと  
地域おこし協力隊の設置 1653万円  
地域住民等連携サポート業務 150万円



### ○地元就職支援

町内医療機関や介護施設

### 看護師の確保対策

ナースプロジェクト  
地域おこし協力隊の設置 436万円  
奨学金制度（看護師担い手枠） 84万円  
奨学金返還補助金 25万円



### ○町内定住対策

住居費・引越し費用

### 新婚世帯の生活支援

結婚新生活支援事業補助金 160万円



令和5年度  
一般会計予算  
ほか5会計予算  
を可決

# より良い町をめざして 共に考える予算

予算審査特別委員会

令和5年度の一般会計予算及び国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の特別会計予算、簡易水道・下水道事業会計予算は、3月7日から9日の3日間にわたり予算審査特別委員会（阿部祐一委員長）で審査しました。委員の発言からいくつかをお知らせします。

採決では、全会計予算が全会一致で可決されました。

## 自主財源確保

**Q** さらなる自主財源の確保にどう取り組んでいくのか。

**A** ふるさと納税の促進や町内企業の活性化による従業員の所得向上に期待をする。

## 固定資産税

**Q** 固定資産税収入1億3000万円増の要因は。

**A** 石灰鉱山の事業所における償却資産の大幅な増加によるもの。

## 指定寄付金

**Q** 指定寄付金の新年度における見込み額が倍増しているが要因は。

**A** 町境の風力発電施設における再生エネルギー発電交付金により、2400万円増を見込む。

## スクールバス

**Q** スクールバスを新たに導入するねらいは。

**A** 中学校統合に向けて2台を導入予定。いずれも29人乗りの仕様となる。

## 体育館改修

**Q** 世田米中学校体育館の改修工事をどう進めるのか。

**A** 屋根の雨漏りや照明器具、中学校統合に関わるどん帳やパーテーションの整備を図る。



世田米中学校体育館

## 堆肥有効活用

**Q** 畜産堆肥利用促進補助金のねらいは。

**A** 町内堆肥を有効活用し、高騰した化学肥料の低減策として実施。町内事業者が展開している鶏糞ベレットや炭化鶏糞などの活用が期待される。

## 町道改良工事

**Q** 町道改良に伴う国の社会資本交付金の活用見込みはどうか。

**A** 昭和橋架け替えや小台線、野々前線の改良において活用を予定。配分状況に応じて取り組む。

## 河川の堆積物

**Q** 中小河川の堆積物を除去し、豪雨時などの安全性の確保を図っていくべきと考えるが。

**A** 緊急性のあるものから計画的に発注し、地元施工事業者の育成にも努めていきたい。

## 町有住宅解体

**Q** 世田米駅第1町有住宅（旧JRバス宿舎）の解体設計が盛り込まれたが、解体後の跡地における利活用をどのように考えているか。

**A** 当該地はまち中の一等地であるため、敷地全体としての活用を見据え検討を進めていきたい。



旧JRバス宿舎

## 議案審議

### 補正予算

令和4年度一般会計補正予算第6号は歳入歳出に3513万円を追加し、総額をそれぞれ49億9414万円とする。

## 事業者の

## 設備更新に補助

### 「中小企業等エネルギーコスト

### 節減対策費補助金」

2000万円計上

**Q** 対象となる事業用  
件と補助額は。

**A** 既存設備を更新し、  
現在よりも省エネ  
ルギーにつながる場合に  
は設備費と工事費総額の  
3分の2（事業者につ  
き上限100万円）まで  
を補助するもの。

**Q** 事業対象となる設備  
機器と申請受付は。

**A** LED照明機器や  
高効率空調設備、  
厨房機器などの更新で、  
エネルギー効率が既存の  
ものよりも上がるものが  
対象。新年度から申請を  
受け付ける。

### ふるさと納税

**Q** ふるさと納税業務  
委託料が減額され  
ている。定住自立圏を形  
成している大船渡市と連  
携したふるさと納税を拡  
大してはどうか。

**A** ふるさと納税の返  
礼品には、その土  
地のものというある程度  
の制約がかかる。隣接地  
域の産物を返礼品のセッ  
トとして該当できるか調  
査研究していきたい。

### 鳥獣害捕獲

**Q** 有害捕獲業務報償  
費が減額されている。  
国、県の補助金が利用で  
きない3月分を町独自で  
の事業として実施を検討  
すべきと考えるがどうか。

**A** 現在は考えていない  
が、4月、5月に  
捕獲が増えることも計画  
に加味しながら、有害駆  
除を講じていきたい。

### 条例制定

#### 下水道

## 区域外流入を許可

公共下水道の区域外か  
らの汚水の流入を認める  
ことなどに関し、必要な  
事項を定めるもの。

区域外流入の許可条件  
は、①汚水を排除しよう

とする土地が公共下水道  
の敷設されている土地に  
面している。②水質基準  
に適合している。③公共  
下水道に支障を与えない  
こと。

### 町道廃止

## 滝観洞線の廃止

### 観光施設と一体的活用

滝観洞観光センター付  
近の町道255・9mを  
廃止し、4月から管理道  
に変更するもの。

住田観光開発（株）が  
運営する同観光センター  
の受付棟は老朽化などに  
より解体となっており、

令和6年度には新築施設  
がオープンする予定。こ  
れに合わせて、道路と新  
施設を一体的に管理し、  
観光地としての景観にも  
配慮した環境整備を図  
る。



△路線廃止によりガードレールが撤去できるなど、  
新たな景観づくりへの取り組みも期待されている

# 請願のゆくえ

## 不採択

医師による因果関係の判断が難しい

請願第9号	コロナワクチン接種後の死亡や後遺症等の本格的実態調査と対応強化を国へ求める意見書の提出について
請願第10号	子どもたちにおける新型コロナウイルス感染症対策の影響調査を国へ求める意見書の提出について
請願第11号	コロナワクチン後遺症の対応強化を県へ求める意見書の提出について
請願者の住所 団体・氏名	住田町上有住字中沢70-1 すみたの子どもたちの未来を守る会 佐々木 公一
紹介議員	水野 正勝
付託常任委員会	総務教民常任委員会（委員長 高橋 靖）
委員会審査の結果	第9号 不採択と決定 （接種後の死亡等は医師による因果関係の判断が難しいため）
	第10号 不採択と決定 （マスク着用や黙食等の影響についての根拠が明確でないため）
	第11号 不採択と決定 （コロナ対策は国の政策であり、補償を県に求めるべきではないため）
本会議での採決	賛成少数で全て不採択と決定

## 賛成討論

第9号 コロナワクチン接種後の死亡や後遺症等の本格的実態調査と対応強化を国へ求める意見書の提出について

### 国が責任をもって対応すべき

水野正勝議員

コロナワクチン接種後に亡くなった方の遺族会が記者会見を開き、国へ速やかな救済や原因究明などを要望し、大手マスコミで報道がなされた。また、国では因果関係を否定できないとの死亡報告を1件初認定した。

国民に努力義務を課し、テレビCMなどを講じて積極的に推し進めてきた経緯もあるため、国が責任をもって対応をしていくべきと考え請願の採択に賛成。

## 請願採決状況一覧

○:賛成 ×:反対 欠:欠席  
議長は採決に加わりません

請 願	水野 正勝	荻原 勝	佐々木 初雄	佐々木 信一	佐々木 春一	村上 薫	阿部 祐一	林崎 幸正	菊池 孝	高橋 靖	菅野 浩正	瀧本 正徳	議決結果
請願第9号 コロナワクチン接種後の死亡や後遺症等の本格的実態調査と対応強化を国へ求める意見書の提出について	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	不採択
請願第10号 子どもたちにおける新型コロナウイルス感染症対策の影響調査を国へ求める意見書の提出について	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	不採択
請願第11号 コロナワクチン後遺症の対応強化を県へ求める意見書の提出について	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	不採択

# 一般質問

# 町の考えを問う

7人の議員が質問

## 子育て・住田高校支援 林業施策などで論戦

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
12	おぎわら 荻原 まする 勝	① 観光振興 ② 林業振興
13	ささきはるか 佐々木 春一	① 若者・子育て支援 ② 新型コロナウイルス感染症の「5類」以降への対応 ③ 持続可能な食と農の実現
14	あへ 阿部 ゆういち 祐一	① 産業の振興と経済対策 ② 水田活用直接支払い交付金の対象水田の見直し
15	むらかみ 村上 かおる 薫	① 今後の気仙2市1町連携強化 ② 令和5年度の施政方針演述 ③ 第10次教育振興基本計画（案）
16	みずの 水野 まさかつ 正勝	① コロナウイルス感染症対策と関連する弊害 ② 昆虫食の対応 ③ 大家畜における獣医療体制 ④ 外資による土地取得
17	はやしざき 林崎 さちまさ 幸正	① 住田高校の生徒確保 ② 森林・林業日本一の総括と今後の展望
18	ささきはつお 佐々木 初雄	① 不動産登記法の改正による相続登記の義務化

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり、施行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたたく。質問方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は1問ずつ質問する1問1答方式を採用しています。持ち時間は、答弁を含めて60分です。

▼QRコード



全文記録（議事録）は、役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。  
（QRコードで議会ホームページへ直接進むことができます）

# 問 どう考える産金の歴史

## 答 広域的な視野で連携



おぎわら 荻原 まさる 議員 勝

町の考えを問う



議員のつぶやき

**問** 当町の「産金の歴史」を地域資源としてどう考えているか。  
**答** 町長 気仙地方は8世紀から莫大な産金を誇り、東大寺の大仏建立や平泉黄金文化を支えたと言われている。町内にも数多くの金山跡が残っている。昭和51年には気仙川で当時国内で3番目の大きさの砂金粒が発見され、現在は町の民俗資料館にそのレプリカが展示されている。それらのことから、本町を含む気仙地方の「産金の歴史」は貴重な地域資源であり一つの観光資源になると捉えている。

**問** 「みちのくGOLD浪漫」をどう考えているか。  
**答** 町長 日本遺産「みちのくGOLD浪漫」黄金の国ジパング、産金のはじまりの地をたどるは、陸前高田市を含む岩手宮城両県の5市町が令和元年5月に文化庁から認定を受けている。本町の交流人口や関係人口を拡大するための同遺産との連携方法は、多様にあると考える。現時点で具体的な計画はないが今後、コロナ禍で停滞した観光の再起動を図るためにも、広域的な視野で取り組んで行く必要があると考える。

**問** 6月4日、陸前高田市の高田松原津波復興祈念公園で第73回全国植樹祭が開催される。森林・林業日本一を目指す町として、この開催をどう捉え、今後の林業振興にどう役立てていく考えか。  
**答** 町長 岩手県では49年ぶり2回目の開催となる。本県の豊かな森林資源を次世代へ引き継ぐ契機であり、森林の公益機能に対する理解の促進、林業の持続的で健全な発展を図る機運醸成にもつながると捉えている。また、東日本大震災後の支援に対する感謝の気持ちと復興する姿を伝えられる機会となり、意義深い大会である。震災後に後方支援を行っ

## 問 全国植樹祭どう生かす

## 答 持続可能な森へ機運醸成

た町としても、大会成功に向け協力していきたい。昨今、脱炭素やカーボンニュートラル、SDGsへの取り組みが求められる。この全国植樹祭を契機に、あらためて持続可能な森林づくりへの取り組みを推進していきたい。

**問** 町の森林の45%を占める広葉樹の活用、地域おこし協力隊の導入を。  
**答** 町長 山で作業するためには、それなりの研修等が必要となる。協力隊というよりは、既存の森林組合や山に携わっている方々の協力を得て、適切な森林管理を進めていきたい。



△ 第73回全国植樹祭の機運を盛り上げるため、役場町民ホールにも展示された木製の地球儀

# 問 安全・安心の保育体制を

## 答 各組2人以上の保育士配置

**問** 保育園での子どもの安全・安心な保育のために、適切な保育士など職員の配置を。

**答** 教育長

2つの保育園とも、全ての年齢の組で、国の配置基準を満たし、可能な限り2人以上の保育士を配置している。

**答** 教育長

令和4年度からは、園長も保育士資格を有した職員であり、さらにフリーの保育士を1名ずつ配置している。

**答** 教育長

今後は、保育園での処分を検討していきたい。

**問** 職員の休暇や突発的な事故が発生した場合の備えは。

**問** 低年齢児の「オムツ」が、保護者の持ち帰りとなっている。園内での処理を望む声があるが。

### オムツは園内処分



△ 保育料の全額無償化が実現した保育園。健康でたくましく、のびのびと育つ環境づくりが期待される



さ さ き はるかず  
佐々木春一 議員

子育て支援3つのゼロ。保育料と子ども医療費、学校給食費の無償化。保育料と医療費のゼロは実現。残すは給食費の無償化。

議員のつばやき

町の考えを問う

# 問 コロナ5類移行の対応は

## 答 正しい情報を提供

**問** 新型コロナウイルス感染症の「5類」への引き下げが「コロナは終わった」との誤ったメッセージを社会に広げ、感染状況を悪化させる危険があるが。

**答** 町長

5月8日より感染症法上の分類が2類から5類感染症に移行となる。5類引き下げが誤ったメッセージとして広がり、再び感染が拡大することも想定されるので、正しい情報を町民に提供していくとともに引き続き、基本的な感染対策をお願いしたい。

**問** マスク着用や感染対策のあり方、感染者等の行動制限などの対応は。

**答** 町長

マスク着用は、3月13日より個人の判断が基本となるが、場面に応じた適切な対応をお願いしたい。行動制限などの対応は、個人や職場の判断に

委ねられるが、周囲に感染を広げない行動と慎重な判断をお願いする。

### 鶏糞ペレットの利用促進

**問** 環境に配慮した農業を促す取り組みとして、化学肥料を減らすとともに堆肥の活用を推奨している。町内事業所が生産する発酵堆肥・ペレット堆肥の普及促進を図れ。

**答** 町長

耕畜連携による循環型農業の構築は、国が目指している「みどりの食糧システム戦略」にも合致し、持続的な食と農の実現を目指す事業として町をPRできる。発酵鶏糞ペレットの利用促進は、耕種農家の理解や事業推進のため、農協や農業改良普及センターと連携を図り、定着するよう普及促進に取り組んでいく。

# 問 事業者への支援を進めよ



あべ ゆういち  
阿部 祐一 議員

町の考えを問う

中小企業は、物価高や転嫁の影響で価格転嫁が難しい状況にある。経営環境の活性化策が必要だ。

議員のつぶやき

## 答 コスト節減対策に補助

**問** 商工業者の設備更新や収益構造の改善に向けて、具体的な支援策をどう進めるのか。

**答** 町長 原油価格や物価高騰の影響をうける中小事業者の将来的な企業体質強化のため、コスト節減や更新に要した費用を支援する。「住田町中小企業エネルギーコスト節減対策費補助金」の交付を行う。照明機器や空調設備などの更新に100万円を上限とし、補助対象経費総額の3分の2以内の金額を支給する。

**問** コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻が長期化する中、住民の生活は厳しさを増している。町内の経済活性化に向けた商品の発行や事業継続支援の実施を図るべきと考えるがどうか。

**答** 町長 令和4年度に実施した「使って応援住田チケット（すみチケ+）」や原油価格・物価高騰緊急対策支援金の事業が影響緩和に一定の効果を上げていると捉えている。新たな経済対策はアンケート調査などで情勢把握に努め、国・県の動向を注視し、適切に検討していく。

## 問 畑地化促進周知は

## 答 14会場で座談会

**問** ※水田活用直接支払交付金において制度改正となるが、要点は。

**答** 町長 令和8年度までの5年間で1度も水張りが行われない水田は、令和9年度以降、交付対象水田としない方針となる。

**問** 耕作が全くなされていない水田の扱いはどうなるのか。

**答** 町長 水田活用直接支払交付金において、3年連続して作付けが行われない自己保全管理されている水田は、交付対象水田から除外される。

**問** 中山間地直接支払交付金や多面的機能支払交付金に取り組んでいる組織への影響はどうか。

**答** 町長 登記簿上の地目変更がなければ影響はない。畦畔やかんがい施設などの水田機能を有した畑地化の場合は、水田としての交付対象に差し支えない。

※水田活用直接支払交付金制度とは

水田で麦、大豆、飼料用米などの作物を生産する農業者に対して交付金を支給する制度。



△ 5年に1度の水張りによって交付要件を維持していくか、畑地化による一定期間の支援に切り替えるかの選択が迫られる水田を活用したネギ栽培のほ場

# 問 2市1町の連携強化へ

## 答 協議の場を提案

**問** 昨年、気仙2市の首長が交代となった。定住自立圏構想を再考する時機が来たと考えるがどうか。

**答** 町長 定住自立圏構想は、当町と大船渡市で令和6年度までの共生ビジョンを策定し進めている。その後の自立圏形成については、2市1町による協議の場を提案していきたいと考えている。

**問** 自治体※GX（グリーン変革）の行程計画と主な施策はどうか。

**答** 町長 令和5年度に役場内でのGX推進会議を立ち上げ、各課横断的な政策に取り組む。推進会議では省エネルギー対策の推進や再生エネルギーの導入促進、温暖化への対応などの観点から施策を検討。令和6年度にはカーボンニュートラルを具現化で

きるものから事業実施を  
目指していきたい。

※GX（グリーン変革）  
とは  
化石エネルギーから  
太陽光発電などのク  
リーンなエネルギー中  
心の産業構造・社会構  
造へ転換する取り組み。  
2050年までに脱炭  
素社会の実現を目指し、  
自治体や企業などが対  
応を進めている。



むらかみ 村上 議員  
かおる 薫 議員

自治体GXは「森林・林業日本一を目指す」まちとして、脱炭素社会を実現したい。

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 テニスコート整備を

## 答 部員増も想定し検討



△ 乾きが早く、天候による影響が少ないオムニコート（砂入り人工芝）の整備が望まれる運動公園テニスコート

**問** 文科省研究開発学校指定の2期目を迎えている「地域創造学」の地域理解において、「住田を創った先達者」を加えるべきと考えるがどうか。

**答** 教育長 地域創造学では小学6年時に町の歴史を学ぶ授業がある。自らの調査や研究結果で、今日の住田を創った先人達を探し出すことが重要と考える。

**問** 競技人口が増えているソフトテニスのコート

を早期に整備する必要があるかと考えるがどうか。

**答** 町長 全ての妊産婦や子育て世帯、子どもを対象として一体的に相談支援を行う機関。多様な家庭環境などに関する支援体制の充実や強化が図られる。

**答** 教育長

ソフトテニスには小学校入学前の子どもから成人まで幅広い年代で親しまれており、多くの大会などでも優秀な成績を収めている。中学校に関しては、来年春季に統合が予定され、多くの部活動で部員数の増加が予想されるため、施設整備は検討しなければならぬ。中学校部活動の地域移行や部活動指導員制度の導入も実施されることから、地域の体育施設整備全体として検討していきたい。

## 子どもセンター

**問** こども家庭センターの目的や機能はどのようなものか。

**答** 町長

全ての妊産婦や子育て世帯、子どもを対象として一体的に相談支援を行う機関。多様な家庭環境などに関する支援体制の充実や強化が図られる。

# 問 新たな獣医療体制は

## 答 大船渡農振協で対応



みずの まさかつ  
水野 正勝 議員

町の考えを問う

コロナを否定的に  
と関係の徹底を  
増すためにも行うべき  
死亡原因の究明を  
超過死亡の原因と  
ワクチンす  
原因と  
思います。

議員のつぶやき

**問** NOSAI岩手による当町での大家畜診療は業務停止まで残り約一年となる。獣医療体制の再構築に向けてこれまでどのような対策が協議されてきたのか。

**答** 町長

大船渡農林振興センター、大船渡市、陸前高田市、住田町及び大船渡市農協が気仙地区の獣医療体制について協議を進めてきた。協議では獣医師の公募や診療時の旅費、備品などを2市1町及び農協が助成を行うことなどが話し合われ、大船渡地方農業振興協議会が主体となって対策に取り組むことになった。

**問** 新たな獣医療体制の整備に向けての対応や課題など、今後の見通しはどうか。

**答** 町長

大船渡地方農業振興協議会による獣医師の公募や審査を踏まえたうえで、気仙地区内を診療していただける獣医師が決定。ただける獣医師が決定。1年前倒しとなる令和5年4月1日より、開業獣医師による新たな体制へ移行することとなった。NOSAI岩手からの円滑な移行ができるかどうか課題となるが、早期に新体制が確立され、大家畜畜産農家が安心して畜産振興が図られるよう支援していきたい。

# 問 死者増の原因究明を

## 答 国の責任で行うべき

**問** 平年で想定される数値を上回った死者数である超過死亡数がコロナワクチンの接種開始以降、令和4年11月時点で約22万人に及んでいる。コロナワクチンとの関連性も疑われるため、国や県へ働きかけを行うなど、原因究明と対策に取り組んでいくべきと考えるが。

**答** 町長

超過死亡数の増加とコロナワクチンとの因果関係は、現時点では結論づけられていない。超過死亡増の原因究明やその対策は、国が責任をもつて行うべきものと捉えていることから、国の取り組みに期待をしている。



△ 2021年以降、年間の死亡者数は増加傾向となった。超過死亡数は戦後最大の数値を更新し続けている

# 問 コロナ食 対応は

**問** コロナ食を学校給食へ導入するなど地域によっては取り組みが活発化している。中国の漢方文献では微毒とされ、妊婦には禁忌であるなど人への影響が懸念されるが、慎重に対応していくべきと考えるがどうか。

**答** 町長

昆虫食は環境への負荷が少なく、栄養価が高いことから「食糧危機の救世主」と言われている。一方で見かけが良くなく、日本の食文化に根付いておらず、単価が高いことなどの特徴もあると捉える。町としては昆虫食を推進する取り組みはないが、引き続き情報収集に努めていきたいと考える。

※その他の質問

外資による土地取得

# 問 森林林業活かした展望を

## 答 さらなる私有林の整備

**問** 「森林・林業日本一のまちづくり」に係るこれまでの取り組みをどのように考えているか。

**答** 町長

持続可能な森林管理と森林経営に努め、木材生産から加工流通までの木材流通システムの充実と強化を図ってきた。FSC森林認証や木質バイオマス、担い手対策、森林環境教育などによる地域全体の活性化も見据え、総合的に取り組んできた。

**問** 「森林・林業日本一のまちづくり」を目指すため、今後の展望をどのように考えるか。

**答** 町長

森林環境譲与税を活用しながら森林経営管理制度を推進し、さらなる私有林の整備を進めなければならないと考える。中でも再造林の推進や林業の担い手不足、鳥獣被害などにおいては、効果的な対策を検討し、実施していかなければならないと捉えている。

**問** かねてから林野庁との人事交流を行ってきたが、その成果をどのように捉えているか。

**答** 町長

派遣される職員には、分取造林組合や航空レーザ測量関連など地域と交流できる事業や国の制度活用を担当している。本町からの派遣職員については、専門知識の習得や人脈づくりなどの成果が得られ、職員の資質向上が図られている。



はやしぎ さちまさ  
林崎 幸正 議員

町の活力には、住田高校の存続が必要不可欠だ。

議員のつぶやき

町の考えを問う

# 問 志願者減の対応は

## 答 募集継続を要請

**問** 県立高校の再編計画では、1学級校は直近の入学人数が2年連続して20人以下となった場合、原則翌年度から募集を停止し、統合について協議することとなる。新年度の入学人数の見込みと今後の対策はどうか。

**答** 教育長

確定ではないが現時点で定員40名に対し、17名の志願者となる。県に対しては、住田高校の魅力向上などの取り組みに理解を求めるとともに、令和6年度以降も募集を継続していただけるよう町長と共に要請をしている。

**問** 住田高校の生徒数確保や魅力向上に対し、これまで多くの補助金交付等の施策を展開してきたが、成果と課題はどうか。

**答** 教育長

教育振興会への補助では、海外派遣事業により生徒の国際理解の醸成を図ってきた。通学費と給食費補助では、保護者の経済的負担を軽減することで高校への関心を高め、入学生確保に貢献してきた。対象となる中学生や保護者などに向けた各支援策の具体的な内容や高校の様子などのさらなる周知が課題となる。



△ 上有住放課後子ども教室と住高生の交流会。子ども達とふれあえる機会が多いのも住田高校の魅力の一つ

# 問 相続法改正の対応は

## 答 義務化うけ重要性周知



さ さ き は つ お  
佐々木初雄 議員

町の考えを問う



議員のつぶやき

**問** 不動産の相続登記未了や所有者不明土地の現状をどう捉えているか。

**答** 町長

不動産登記は法務局の管轄であり、相続登記の未了や所有者不明の不動産は、正確な数字は掴めていない。当町での把握はあくまでも固定資産台帳を基にしたものとなる。所有者不明の不動産は、税務調査により権利者を特定し、固定資産税の※納税管理人を選任している状況となる。

**問** 都市部への人口流出や少子化などにより、所有者の死後、不動産を利活用及び管理することが出来ず、相続人全員が相

続放棄を望む場合の対応はどうか。

**答** 町長

個人の財産に関するため、相続人それぞれの考え方を基本と捉える。仮に相続人が全員相続放棄を望んだ場合であっても、相続財産の管理義務は発生し、他者に引き渡すまでは管理義務を負うこととなる。制度の理解を促すことが重要と捉える。

**問** 相続人がいない不動産の場合はどうか。

**答** 町長

相続人がなく有効に活用できる可能性が高い土地に関しては、※相続財産管理人または相続財産清算人を選任し、相続財

産の清算を行うなど、制度を有効に活用しながら、対応していくことが必要と考える。

**問** 相続した土地の所有権を一定要件で手放し、国に帰属させる制度が開

**答** 町長

土地所有に対する住民の負担感が増し、所有者不明土地の発生が増加傾向にある。その解消を進めるため、相続した土地を法務大臣の承認により手放し、国庫に帰属させることを可能とする制度。対象は更地を基本とし、土地の状況に応じた10年分の管理費相当額を納入する必要がある。

※納税管理人とは

納税義務者に代わり納税に関する一切の手続きを行う人。

※相続財産管理人とは

遺産を管理し遺産を清算する職務を行う人。

**問** 相続法の改正をうけ、令和6年4月1日より、不動産の相続登記が義務化される。不動産の所有者が死亡し、相続人が相続を知った日から3年以内に正当な理由なく相続を怠った場合、10万円以下の過料が科せられる可能性がある。法施行前の相続登記未了の不動産にもさかのぼって適用されることから、住民へ制度を周知し、相続登記を進めることが重要と考えるがどうか。

**答** 町長

死亡届等があった場合には、固定資産税の納税管理人の届出書を提出いただいております。その際には早めの相続登記をお願いする周知も図ってきた。今後は制度が大幅に見直されることから、町民への継続した周知が大切と考える。町の広報や住田テレビ等を活用し、相続登記の重要性について周知を図っていきたい。



△ 不動産の相続登記義務化により、特定空き家への対応や未然防止にも期待が寄せられる

# すみた想い人 12

町民の皆さんに登場していただく企画になります。町や議会に対しての意見活動を通した「まちづくり」への想いを紹介していきます。



△ふるさと創生大学での毎年恒例「書初め」

今回は、「まちづくり学校ふるさと創生大学」とのつながりをきっかけに、町へ移住された功刀稔也さんです。有住小学校の講師を勤めながら、休日には地域行事やふるさと創生大学の活動に精力的に参加されています。

## 体験的な学習を子ども達と



功刀 稔也さん 世田米字世田米駅

**Q** すみたに移住されたきっかけは。

**A** 東京では、保育園や学習塾などで働

きながら、通信制大学で教員免許を取得しました。どこで教師をしようか迷っていたところ、早速、驚くべき速さでご連絡をいただいたのが住田町でした。有住小学校で教育実習をさせていただいたこと、ふるさと創生大学の方々にお世話になったことと縁を感じ、住田町への移住を即決しました。

## 議会を傍聴しよう!

町議会は誰でも傍聴できます。次の6月議会の予定は下表のとおり。

生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

令和5年3月議会の傍聴者は14人でした。



### 6月議会は

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

## 住田テレビ放映もどうぞ



本会議や一般質問の様子は、住田テレビの「議会放送」でもご覧いただけます。

放映時間は午後6時からです。

**Q** ふるさと創生大学での活動の魅力は。

**A** 体験活動が豊富なところ。教師

として、子どもたちの生活体験が豊かになってほしいという願いをもって、植物や生き物と触れ合うこと、川で遊ぶこと、芸術文化に親しむこと、本を読むことなど、体験的な学習の場を創ることができ、子どもたちを巻き込めるのが魅力的です。

**Q** すみたで感じたことや魅力を教えてください。

**A** 地域の結びつきが強いことです。東

京では地域と疎遠の生活でした。お隣さんであっても、どこの誰なのか見当が付きません。でも住田町では、誰かしら共通の知り合いがいるものです。移住して1年も経ちませんが、住田の皆さんがまるで「親戚」のように感じられます。

**Q** 今後の活動やまちへの想いを聞かせてください。

**A** 住田町には「職人」のような方がたく

さんいらっしやるように感じます。ふるさと創生大学にも農業や漁業、書道、工芸、音楽など多様な専門家が集まっています。子どもたちが、そうした「本物」を身近に感じ、触れ合い、関わりをもてるまちになってほしいと思っています。



パート  
13

# わたしの未来

住田町の子どもたちが  
将来の夢を語る

コーナーです。  
自薦・他薦も大歓迎。申し  
込みをお待ちしています。

## 悩みをサポート

私が今夢中になっていることは、音楽をきくことです。音楽をきいている時は、リラックス出来るのでそのまま寝てしまうことがよくあります。将来の夢は、**心理カウンセラー**です。話を聞くことで悩んでいる人が前向きに生活できるサポートをしたいと思っています。



有住小学校6年  
みずの こはる  
**水野 心陽**  
(下有住字中上)

## 夢はジョーダン

ぼくのしょうらいの夢は、**バスケット選手**です。小さいころユーチューブでマイケル・ジョーダンが、フリーシュートラインからジャンプして、ダンクシュートしたのを見たのがきっかけです。そのためには、練習をかかさないと大事だと思います。



世田米小学校6年  
さとう かずき  
**佐藤 和樹**  
(世田米字上日向)

## 編集後記

広報編集常任委員会  
副委員長 水野 正勝

今任期において、議会だよりは今号で15回目の発行となりました。最初の頃は分からないことだらけで、もともと作文も得意ではなく、広報を完成させるため、先輩議員や事務局の助言により、必死に食らいついてなんとかこれまでやらせていただくことができました。これまでの編集作業に関わり、ご指導・ご協力をいただいた町民の皆様にあらためて感謝申し上げます。残された任期もより良い広報づくりを目指し、取り組んでまいります。

## 表紙の写真



世田米保育園

段々と暖かくなってきた3月末。世田米保育園の園庭では、子どもたちが縄跳びやドッジボールで元気に遊んでいました。そんな中、4月から年長さんになる子どもたちは、カメラにとっても興味深々。撮られるより撮りたい!と交互にカメラマン役になって、お友達や先生の笑顔をパシャリ。しっかりチェックまでして、「うん! いいね!!」と、担当顔負けの立派なカメラマンになっていました。

## 広報編集常任委員会

### 発行責任者



- |      |        |
|------|--------|
| 議長   | 瀧本 正徳  |
| 委員長  | 佐々木 信一 |
| 副委員長 | 水野 正勝  |
| 委員   | 菅野 浩正  |
|      | 阿部 祐一  |
|      | 佐々木 春一 |
|      | 荻原 一勝  |